

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聴覚・ろう重複センターつくしつこ		
○保護者評価実施期間	2025年11月10日	~	2025年11月27日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	18	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年11月10日	~	2025年11月27日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちに対して専門性のある支援を提供できている。 ※より強化・充実を図ることが期待されること	共通言語である手話を大切にし、一人ひとりに合ったコミュニケーション手段で対応をしています。情報の漏れがないよう、絵カードや写真を使ってわかりやすく説明しています。	聴覚障害児を受け入れる専門的な施設として、コミュニケーション支援を充実させるために、スタッフ研修を実施します。
2	事業所利用や利用者負担について丁寧に説明ができている。	初回のアセスメントや利用契約や利用料や計画に変化があった際はできるだけわかりやすく丁寧に説明するよう心がけています。	モニタリング時やアセスメントの際に、利用についてさらに丁寧な説明を心がけます。気軽に相談にしていただけるようこちらから困りごとを尋ねていきます。
3	子どもたちや保護者が通所を楽しみにしてくれている。	季節にあった行事や言葉かけを大切にしています。子どもたちの要望を聞き、普段の活動に取り入れています。	日常生活の中で会話や活動を楽しみながら、語彙を増やしたり伝え合う方法を提案していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や地域の人たちとの関わり。	事業所内の活動が多く、地域に開かれたイベントや交流がありません。公園では、地域の方々と交流する機会がありますが、継続は難しい状況が多いです。	地域活動に参加したり、事業所に興味を持っていただけのような広報に力を入れていきます。また、普段からあいさつやお散歩などで交流の機会やきっかけ作りを提供していきます。
2	保護者の交流会や、きょうだい児への支援が少ない。	昨年度保護者会を開催しましたが、きょうだい児への支援はありません。	保護者交流会を継続して開催し、交流できる場を設けます。きょうだい児と交流できる場を検討します。
3			